発行：小金井市議会
編集：広報・広聴協議会
〒184-8504
小金井市本町六丁目６番３号
TEL（042）387－9947（直通）
FAX（042）387－1225

小金井市議会
ホームページアドレス
https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/gikaijimukyoku/

こがねい 市議会だより

令和７年
第２回定例会
第293号
令和7年（2025年）
8月22日発行

第47回小金井阿波おどり大会
今年もたくさんの連が出場されて盛り上がりました

予算可決 防犯機器の購入に助成

令和７年４月分から

特別委員会設置 新庁舎建設引き続き調査

第２回臨時会の概要

令和７年第２回臨時会（斎藤康夫議長）は、５月13日に開会し、同日閉会しました。

市長から、公共施設37施設において、照明器具のＬＥＤ化工事を行うための、小金井市公共施設照明ＬＥＤ化ＥＳＣＯ事業委託契約についての提案がありました。同日の本会議では、委員会付託を省略し、採決の結果、可決しました。

また、副市長（古橋悦子氏）の選任に関し同意を求めることについて提案があり、同日の本会議において、採決の結果、同意しました。

第２回定例会の概要

令和７年第２回定例会（斎藤康夫議長）は、６月２日に開会し、６月24日に閉会しました。

令和７年度一般会計補正予算（第２回）を可決

本補正予算は、一般会計予算を６億千373万９千円増額し、補正後の歳入歳出予算総額を530億３千373万９千円とするものです。

６月２日の本会議において、予算特別委員会（河野麻美委員長）に付託し、６月17日及び20日の委員会で審査を行いました。

６月24日の本会議では、起立採決の結果、原案のとおり可決しました。

国及び都の補助金を活用した事業など、主な内容は次のとおりです。

▼商工振興に要する経費（１億６千255万円）

物価高騰対策として、市民生活及び地域経済の活性化を図るため、小金井市商工会が実施する「キャッシュレス決済ポイント還元事業」について、令和７年11月中に対象店舗において、指定のキャッシュレス決済を利用した方に対し、決済金額の30％をポイントとして還元するための補助金を交付するものです。

▼安全・安心まちづくり対策に要する経費（４千103万３千円）

市民の防犯意識の高揚と安全で安心な暮らしの実現のため、一戸建て及び共同住宅専有部分に設置する、家庭用防犯カメラや防犯フィルムといった防犯機器等の購入費用等の１／２（上限２万円／世帯）を補助するものです。

▼保育施設開設及び改修等に要する経費（２千178万円）

令和５年度末から病児保育施設が廃止となっていた東小金井駅エリアに、新規に病児保育施設を開設するためのものです。

（２面に審議結果を掲載）

庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会を設置

６月10日に、庁舎等建設及び公共施設マネジメントの推進に係る諸問題の調査に関して、12人の委員で構成する「庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会」を設置し、調査することとしました。委員は次のとおりです。

◎吹春　やすたか　○水谷　たかこ　中井　れい子　小林　正樹
沖浦　あつし　村上　ようすけ　藤川　賢治　たゆ久　貴
遠藤　百合子　岸田　正義　渡辺　大三　森戸　よう子
◎委員長　○副委員長

令和７年第２回 臨時会日誌

【５月】
13日　本会議（議案の審議・採決）

令和７年第２回 定例会日誌

【６月】
2日　本会議（議案の審議・委員会付託・採決）
建設環境委員会
5日　本会議（一般質問）
6日　本会議（一般質問）
9日　本会議（一般質問）
10日　本会議（一般質問、議員提出議案の審議・採決、陳情の委員会付託）
11日　議会運営委員会
12日　厚生文教委員会
13日　建設環境委員会
16日　総務企画委員会
17日　予算特別委員会
20日　庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会
厚生文教委員会
建設環境委員会
予算特別委員会
総務企画委員会
24日　本会議（委員会付託案件の採決、陳情書の訂正、議員提出議案の審議・委員会付託・採決、陳情の委員会付託）

各会派の令和６年度政務活動費収支報告については３面に掲載しています。

８面に市議会会派の紹介記事を掲載しています。

市議会の本会議・委員会等の様子をYouTubeで配信しています。
https://www.youtube.com/user/koganeishigikai

審議した主な議案

令和７年度一般会計補正予算（第２回）

予算の概要は1面に掲載しています。

反対討論（要旨）

藤川賢治（見える化）

本案には市民の生活のための大変重要な項目が含まれ、反対討論をするのは心苦しいが、それでも反対せざるを得ない。

問題は、新型インフルエンザ等対策行動計画等策定支援委託料430万千円で、これは国の「新型インフルエンザ等対策政府行動計画」の改訂に伴うものとして計上されている。新型コロナ対策が基本的に上手くいったとの認識の下、その改訂版を国が示し、それを受け地方自治体版として改訂するものである。

しかし、米国議会ではコロナ対策の総括をし、対策が間違っていたという報告書が出ており、ホワイトハウスのホームページでも掲載されている。ロックダウンは害の方が大きかった、マスクが有効という科学的根拠は無かった、コロナワクチンは感染拡大を防がないなどである。

市民の生活を苦しめた新型コロナ対策を総括せずに続けていくことになる本案に反対する。

賛成討論（要旨）

沖浦あつし（みらい）

事業構築の熟度と市民への説明責任について、依然として懸念があることを指摘する。防犯機器等購入緊急補助事業は、都の補助制度を使用するもので、スピード感や取組内容を他市と比較されるのは当然のこと。近隣市では4月から受付が始まっているが、本市は市議選の関係で定例会会期が早まったため、対応が遅れたことは問題ではない。むしろ、準備時間があったにもかかわらず、犯罪発生率等、地域特性を踏まえ、本市ならではの工夫や優先順位について十分な説明がなく、「組織体制が限られていた」という理由だけでは市民の納得が得られない。単なる担当課の問題ではなく、それを放置している市のガバナンス問題にもなりかねない。９月申請受付開始後の事務負担も見据え、体制整備を求める。本指摘事項について今後、どのような改善に取り組むのか明らかにすることを求め、賛成する。

賛成討論（要旨）

水上洋志（日本共産党）

一定の物価高騰対策と市民要望を反映した予算が計上されており、賛成する。定額減税の補足給付金は、日本共産党が求めてきた税制上の扶養親族対象外の市民が対象になった。防犯機器等購入補助事業は、犯罪への市民の不安に応える事業で、今後の拡充を求める。犯罪を抑止するために社会の在り方や地域づくりの対策が必要である。商業振興策のキャッシュレスポイント還元補助事業は一定の効果が見込めるものの、７割の事業者と多数の市民が利用できないことが明らかである。商業関係者の意見を聴き、この間の事業の検証と調査を行い、更なる支援の拡充を求める。今回の予算の物価高騰対策は、国の交付金頼みになっている。日本共産党は物価高騰で深刻となる市民生活への支援策を提案してきた。財政調整基金は、年度末残高63億円で、これらを活用し、更なる市民生活支援を強く求める。

賛成討論（要旨）

小林正樹（公明党）

闇バイトを起因とする狛江市の強盗殺人事件などを受けて実施される、防犯機器等の購入費補助について、公明党は防犯に強い街を推進するため、２月の定例会及び５月の臨時会においても、市として上乗せや横出しなど、手厚い対応の検討を始め、早急に予算提案することを求めてきた。今回の提案については、ネット申請を含め、本年４月に遡って実施いただける点は評価するが、それ以外の対応が見られないことは残念である。状況に鑑み、適切な対応を講じて頂きたいと改めて要望する。暑熱対策として被覆購入費補助等の農業振興連合会補助金事業はＰＲを迅速に行っていただきたい。また、11月に実施するキャッシュレス決済を利用した事業については、過去の経験を活かし、より多くの方に市内個店でお買い物を楽しんでいただき、リピーターになっていただけるような制度設計をお願いする。

賛成討論（要旨）

渡辺大三（子ども／情報）

第一に、防犯機器等購入緊急補助事業に要する経費。財源内訳を見ると、４千百万円が都費で、市費は僅か３万３千円。使えるはずの国費（交付金）も使われていない。多摩26市中11市が補助上限額の引上げなど、独自の上乗せ、26市中４市が対象品目の拡大などの横出しの努力・工夫をしている。本市が上乗せ・横出しをしていないのは、極めて消極的で問題が多い。市民の安心・安全を確保すべく、施策のレベルアップと追加の補正予算措置を求める。第二に、物価高騰対策としてキャッシュレス決済ポイント還元事業に対する補助金交付。このスキームでは、キャッシュレス決済に対応できない多くの業者や多くの市民には何らの恩恵もない。今回のスキームでメリットを得られない方々も物価高に苦しんでいる。何らかの対策を講じるよう求める。以上の意見を申し述べ、賛成討論とする。

賛成討論（要旨）

水谷たかこ（こがおも）

賛成の主な理由は、①国の臨時交付金を活用した物価高騰対策、②不登校対策の拡充、③東小金井エリアでの病児・病後児保育施設新設、④子ども家庭センターでの待ち時間活用の取組の４項目が含まれるからである。①のキャッシュレスポイント還元事業は、事前の調査が不十分であるとの意見があったが、臨時の減税や給付等で業務の負荷が増している中、現状の職員体制下で可能な検討をしたと受け止め、今後の研究を期待する。

都の補助金を活用した防犯機器等購入補助事業については、都の事業スキームを越えて市独自の上乗せ等を求める意見があったが、多摩26市を調査した結果や先行自治体での申請状況や市の財政状況等に鑑みて、今回提案されている内容で実施することは合理的である。今後も他市の状況を注視して研究し、広報や市民の問合せ等に丁寧に対応することを求める。

賛成討論（要旨）

清水学（自民街仲）

物価高騰対策について検討が十分ではないと考える。今回、市から提案されたキャッシュレス決済ポイント還元事業については、キャッシュレスを導入していない事業者への導入に向けての取組をこの間行ってきたのか。市民以外も利用可能であり、市民優先の支援策を講じるべきではなかったか。

墨田区のプレミアム付きデジタル商品券事業を大いに参考にすべきだ。事業目的は明確で、消費者支援と区内消費喚起による商店街の活性化を図るとともに、区内商店街のキャッシュレス決済の促進である。予算規模は違えど、事業者と市内利用者に寄り添う支援を行う自治体がある中で、小金井市にできない理由はない。今後は、商工会や商店会連合会等の関係者から積極的にヒアリングを行い、相談や意見を聴くなど、職員が地域に飛び出し、より効果のある事業の構築を強く求める。

議員の寄附行為禁止についてのお願い

議員は、公職選挙法により、選挙区内の人にお金や物を贈ったり、年賀状や暑中見舞いなどの挨拶状（答礼のための自筆によるものを除く。）を出したりすることが禁止されています。また、有権者が議員に対し、寄附を求めることも禁止されています。

なお、市民の皆様方との良好な関係を保っていくため、実費負担が必要とされる行事・催しをご案内いただく際には、会費を明示してご通知くださいますようお願い申し上げます。

何とぞ皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

議案の審議結果

付託先略称　即：委員会付託を省略し本会議で採決
総：総務企画委員会
予：予算特別委員会

○：賛成　×：反対　△：退席　議：議長（原則、採決には加わらず）

		み 天野かな	み 沖浦あつし	み 吉良のりこ	み 岸田正義	み 鈴木成夫	自 河野麻美	自 吹春やすたか	自 遠藤百合子	共 たゆ久貴	共 水上洋志	共 森戸よう子	公 太田宏徳	公 中井れい子	公 小林正樹	子 渡辺大三	子 片山かおる	お 水谷たかこ	お ながとり太郎	参 斎藤康夫	ネ 安田けいこ	街 清水学	れ 村上ようすけ	見 藤川賢治	緑 坂井えつ子	付託先	議決結果
賛否が分かれたもの																											
第２回臨時会	令和７年度小金井市一般会計補正予算（第１回）	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	即	原案可決
第２回臨時会	副市長の選任に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	即	同　意
第２回定例会	令和７年度小金井市一般会計補正予算（第２回）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	×	○	予	原案可決

全会一致となったもの			
第２回臨時会	小金井市公共施設照明ＬＥＤ化ＥＳＣＯ事業委託契約について	即	可　決
第２回定例会	教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	即	同　意
	小金井市市税条例の一部を改正する条例	総	原案可決
	議会改革に関する諸問題の調査（議員提案）	即	原案可決

【会派略称】み：みらいのこがねい　自：自由民主党小金井　共：日本共産党小金井市議団　公：小金井市議会公明党　子：子どもの権利／情報公開　お：小金井をおもしろくする会
参：参政党小金井　ネ：生活者ネットワーク　街：自民党・街の仲間たち　れ：れいわ新選組小金井　見：小金井市政を見える化する会　緑：緑・つながる小金井

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。

請願・陳情の審議結果

付託先略称　即：委員会付託を省略し本会議で採決
総：総務企画委員会　厚：厚生文教委員会

○：賛成　×：反対　△：退席　議：議長（原則、採決には加わらず）

件名	要旨	み 天野かな	み 沖浦あつし	み 吉良のりこ	み 岸田正義	み 鈴木成夫	自 河野麻美	自 吹春やすたか	自 遠藤百合子	共 たゆ久貴	共 水上洋志	共 森戸よう子	公 太田宏徳	公 中井れい子	公 小林正樹	子 渡辺大三	子 片山かおる	お 水谷たかこ	お ながとり太郎	参 斎藤康夫	ネ 安田けいこ	街 清水学	れ 村上ようすけ	見 藤川賢治	緑 坂井えつ子	付託先	議決結果
小金井市長及び市議会議員の憲法尊重擁護義務について確認していただくことを求める陳情書	市議会議員の新任期開始に伴い、改めて小金井市議会として、小金井市長及び小金井市議会議員（議長含む）が、日本国憲法第99条に基づき、憲法尊重擁護義務を負うことを確認することを求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	総	採択
小金井市においても国による雇用施策との連携による重度障害者等就労支援特別事業を実施していただくことを求める陳情書	誰にでも重度の障害を負う可能性があるため、必要が生じた際、速やかに実施できるよう準備するべき。小金井市においても国による雇用施策との連携による重度障害者等就労支援特別事業を実施することを求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	厚	採択
小金井市の組織に市政に対する苦情処理部門の設置を求める陳情書	小金井市の行政に対する苦情処理部門は組織内に存在しておらず、市の広報秘書課は苦情を聞くにとどまり、その案件の解決の道筋を探る処理までは踏み込めていない。小金井市に当該部門を設置するよう求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	総	不採択
人事異動にかかる市民不利益についての陳情書	複数の部課長をまとめて異動させた今年度４月の人事異動について、市民への不便や職員への負担を顧みずに行われた効果の解説と、行政の継続性を害するような人事異動をやめることを求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	△	△	△	×	×	×	○	○	×	×	議	×	×	×	×	×	総	不採択
異動の無いことによるリスクの解消を求める陳情書	一般に公務員の人事異動は複数の弊害の観点から、３～５年を目安に異動が推奨されている。10年もの間同一部長職に就いている職員に対し弊害チェックを行い、人事継続の場合は弊害がないとする合理的説明を求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	議	×	×	×	×	×	総	不採択
「小金井市は納税者住民に対し適切に対応する行政サービスの給付を義務づける条例の制定」の実現を小金井市議会に求める陳情書	納税者住民に対し、適切に対応する行政サービスの給付がなされていない現状は、徴税とそれに見合う行政サービスの提供の力関係のバランスを失したものであり、その回復のために、当該条例の制定を求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	総	不採択
市議会は国会に対し公職選挙法を改正して立会演説会の復活を求める意見書を提出するよう求める陳情書	有権者には選挙立候補者の政策実現能力を測る目安が存在しない。選挙への関心を高め、投票率向上につなげるために立候補者の議論、討論能力を測る場としての立会演説会の復活を求める意見書の提出を求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	議	×	×	×	×	×	総	不採択
防犯機器等購入緊急補助事業の独自の拡充を求める陳情書	防犯機器等購入緊急補助事業について、都内他自治体の独自の「上乗せ」「横出し」の状況、特徴的な施策を明らかにし、小金井市独自の「上乗せ」「横出し」が実施されるよう、市長と議会に所要の調整を求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	議	×	×	○	○	○	総	不採択
武蔵小金井駅西側の歩道等の改善を求める陳情書の訂正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	即	承認

【会派略称】み：みらいのこがねい　自：自由民主党小金井　共：日本共産党小金井市議団　公：小金井市議会公明党　子：子どもの権利／情報公開　お：小金井をおもしろくする会
参：参政党小金井　ネ：生活者ネットワーク　街：自民党・街の仲間たち　れ：れいわ新選組小金井　見：小金井市政を見える化する会　緑：緑・つながる小金井

全員協議会を開催しました

【７月１日】
▶　小金井市立保育園の在り方に関する方針（案）について
　市からは、２園（くりのみ保育園、さくら保育園）を段階的に廃止し、３園の段階的定員減、また医療的ケア児、誰でも通園対応等の方針（案）が提案され、それに対する質疑を行いました。

広報・広聴協議会を開催しました

【５月15日】
▶　各部会の設置及び委員の選出
【６月18日】【６月20日】
【６月24日】【７月24日】
▶　協議項目（柱）について

議員の住所が変わりました

渡辺　大三（子どもの権利／情報公開）
新住所　緑町３－３－21－127
　　ライオンズテラス武蔵小金井

所管事務調査を行っています

　常任委員会では、本会議で付託された議案や請願・陳情の審査のほか、委員会の所管に属する市の事務を独自に調査する「所管事務調査」を行う権限があります。
　常任委員会の発議により、市政の各分野における課題の解決に向けて、調査を行い、市長等の執行機関に対し具体的な政策や施策を積極的に提案するものです。
　第２回定例会では、以下の常任委員会で所管事務調査を立ち上げ、令和９年３月まで継続して調査を行うこととしました。

【厚生文教委員会】
▷　地域福祉計画の進捗について
▷　子ども施策について
　(1)　保育政策の課題
　(2)　子どもの居場所・放課後の居場所

【建設環境委員会】
▷　循環型社会の形成及び温室効果ガス削減に関する調査
▷　都市計画道路に関する調査

令和６年度　政務活動費収支報告

　政務活動費は、議員の調査研究等に必要な経費の一部として、議会における会派に対して交付するものです。
　各会派の収入・支出報告書、支出調書、収入・支出整理簿、領収書等の写しについては、市ホームページに掲載しています。

会派名	会派人数	交付額（A）（※１）	預金利子（B）	収入（C）（A＋B）	支出額（D）	返還額（C－D）（※２）
自由民主党・信頼の小金井	４人	1,440,000円	284円	1,440,284円	1,439,695円	589円
みらいのこがねい	４人	1,440,000円	185円	1,440,185円	732,111円	708,074円
子どもの権利を守る会	４人	1,440,000円	11円	1,440,011円	1,440,000円	11円
日本共産党小金井市議団	３人	1,080,000円	183円	1,080,183円	1,041,553円	38,630円
小金井市議会公明党	３人	1,080,000円	324円	1,080,324円	667,749円	412,575円
小金井をおもしろくする会	１人	360,000円	129円	360,129円	360,000円	129円
参政党小金井	１人	360,000円	128円	360,128円	360,000円	128円
生活者ネットワーク	１人	360,000円	128円	360,128円	360,000円	128円
緑・つながる小金井	１人	360,000円	０円	360,000円	281,782円	78,218円
街の仲間たち	１人	360,000円	151円	360,151円	305,170円	54,981円
合計	23人	8,280,000円	1,523円	8,281,523円	6,988,060円	1,293,463円

※１　会派の所属人数に月額30,000円を乗じた金額を交付しています。
※２　残額は市に返還しています。

次の定例会中の委員会で審査する請願・陳情の提出期限は、9月2日（火）午後5時までです。

一般質問

（4面～6面）　6月5日、6日、9日、10日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。
〈二次元コードについて〉
スマートフォン等で読み取ると、YouTubeでご覧いただくことができます。なお、休憩を挟んだ議員は2つ（上：前半、下：後半）掲載しています。

会派の略称

（みらい）	みらいのこがねい
（日本共産党）	日本共産党小金井市議団
（子ども／情報）	子どもの権利／情報公開
（生活者ネット）	生活者ネットワーク
（れいわ新選組）	れいわ新選組小金井
（緑・つながる）	緑・つながる小金井
（自由民主党）	自由民主党小金井
（公明党）	小金井市議会公明党
（こがおも）	小金井をおもしろくする会
（自民街仲）	自民党・街の仲間たち
（見える化）	小金井市政を見える化する会

「朝の小一の壁」への市の対応について

吹春やすたか（自由民主党）

朝の子ども達の居場所について尋ねたい。保育園から小学校への就学に伴い、登校時間よりも早く出勤する親にとって、仕事と子育ての両立が困難になる、いわゆる「朝の小一の壁」がある。保育園などは朝7時台から預かるが、小学校では登校時間が8時台である。特に東京では親と子で暮らしている方々が大半と思われる。子どもを残して出勤する状況や、親子一緒に家を出て学校が開くまで校門の前で児童が待っている状況が生じている。(ア)市内の状況は。(イ)この件に対する国や都、他市の取組状況は。(ウ)小金井市でもこの対策を進めるべきと考えるが市の見解は。

部長　(ア)第三小学校の朝の見守りはPTAを中心とした有志での活動と把握している。それ以外でも、過去にボランティアの方々が朝の見守り活動を実施したが、ボランティアの確保が出来ず、中止したと聞いている。(イ)この件への取組を実施しているか検討中と回答した自治体は全国で3％とまだまだ少なく、実施方法や所管部署は様々である。(ウ)自宅以外の朝の居場所にどの程度のニーズがあるのか把握することから始めるのが適当と考え、関係各部署との協議が必要と考える。

行政相談の充実を／三小トイレの臭気解決を

小林正樹（公明党）

❶弁護士や税理士、司法書士、行政書士、社会保険労務士による行政相談を行う意義は、専門的な知識をいかし、質の高い相談対応を行う点にある。(ア)専門相談に係る協力関係の維持による市民サービス向上のために、謝礼の見直しを行うべき。(イ)オンライン相談の実施を検討しないか。

部長　(ア)来年度に向けてどのようにできるか他市の状況等を踏まえつつ、しっかりと検討して参りたい。(イ)必要性やニーズ等を踏まえ、継続して検討したい。

❷学校が抱える多くの課題を、ひとつずつ解決をしなければならない。(ア)給食を美味しく頂く環境にも影響が出ている、三小西校舎トイレの臭気問題の解決を。(イ)グラウンドの水はけ問題の解消を。(ウ)保育園から小学校への進学で生じる、朝の小一の壁について検討を。

部長　(ア)臭気計を持参して状況を確認した。小便器の床下にある排水管の汚水漏れ対策を、6月中に実施する。(イ)校庭の全面補修等が必要な場合は、新年度の予算要求の検討項目として対応する。(ウ)総合教育会議や、生涯学習部と子ども家庭部との打合せ等を通じて、所管部署や実施方法、課題等、取組に向けた研究、検討を進めていきたい。

公・民合わせた不登校支援環境の拡充を！

村上ようすけ（れいわ新選組）

児童・生徒全てに学びの場を確保する環境が整備されておらず、学校以外の選択肢が大変限られていることが問題だ。75％が自宅で過ごしており、学校・家庭以外の居場所の確保が課題である。もくせい教室は相応の改善が図れているが、継続的な対象者は全体の1割以下であり、民間と合わせて居場所を拡充するための支援が必要だ。(ア)もくせい教室の実態と必要な対応を、効果検証の在り方を含めて伺う。(イ)東京都の支援事業制度は的を得た施策と言えるが、まだまだ不十分。事業者の新規参入を促すための追加支援策が不可欠だ。市独自の助成金制度を拡大して相応しい環境・内容を共同構築しないか。(ウ)外出が困難な方のための訪問型支援への助成金を検討しないか。(エ)特別支援教室の受入れを柔軟に対応しないか。(オ)就学選択の参考となる5歳児健診の実施予定は。

部長　(ア)環境、内容、人材、保護者支援等改善が進んでいる。客観的な効果検証を研究する。(イ)学校とフリースクールの連携を推進していく。(ウ)電話連絡や家庭訪問等、試行錯誤しながら取り組む。(エ)改善・克服が見込まれる場合に実施可能。(オ)実施・フォロー体制の調整が必要で、検討中である。

学校トイレの環境改善を／実効性ある市政運営を

天野かな（みらい）

❶学校施設におけるトイレの更なる衛生環境の改善として便器の取替えだけでなく、学校トイレの包括的な洋式化を実施していくべきである。(ア)事業実施における課題は。(イ)財源確保のため、民意を問う形でより具体的な政策を指定できるふるさと納税制度や、クラウドファンディング型ふるさと納税制度の活用を検討しないか。

部長　(ア)大きなコスト負担と工期が課題。(イ)今後の研究課題とする。

❷AI時代に即した情報発信の在り方を検討し、行政情報の更なる透明化と市民のアクセシビリティ向上を目指すべき。各種事業における効果検証の精度を高め、より実効性のある市政運営に繋げるべきである。(ア)機械判読性の高い資料提示を積極的に進めるべきでは。(イ)以下項目を管理することで、事務事業評価の効果的な運用を求めたい。①事業ごとの具体的な政策効果指標の設定、②複数年度にわたる事業の累積予決算の管理、③過年度も含めた累積での費用対効果分析に加え、効果指標の妥当性を評価するプロセスの確立。

部長　(ア)実務的な改善を着実に進めていきたい。(イ)制度の趣旨との整合性を図りつつ、引き続き検討する。

宇宙・天文教育の推進／防犯ドラレコで防犯対策

太田宏徳（公明党）

❶隣接市には国立天文台、市内には環境楽習館、情報通信研究機構（NICT）が立地し、宇宙・天文教育のための豊富な資源を有し、より戦略的に推進すべきでは。(ア)「ふれあい天文学」など、専門家による出張授業の実施は。(イ)環境楽習館での宇宙・天文イベントはどうか。(ウ)市内教育機関や研究機関、NICT等との協働の可能性は。

部長　(ア)各学校へ情報提供を行い、質の高い効果的な学びを実現するため、有効に活用するよう働きかける。(イ)指定管理者から、親子向けの自然観察会として、星空の観察について提案があり、今後協議していく。(ウ)かつて、NICTと教員研修で連携している。教育委員会としては、協働の可能性を探っていきたい。

❷昨今、闇バイト等による犯罪が多発している。ドライブレコーダー搭載の配送、郵送業者等と協定を締結し「防犯ドラレコ」として活用を提案する。民間事業者に対して地域包括協定に防犯を加えた支援、協力を要請しないか。

部長　日本郵便㈱と地域包括協定の締結をしており、連携事項の一つに地域の安全安心を掲げている。今後も様々な関係機関との連携、関係構築に努める。

コロナワクチンで桁違いの健康被害。即時中止を

藤川賢治（見える化）

❶市の予防接種健康被害救済制度に基づく申請数と認定数について。(ア)新型コロナワクチンでの本制度に基づく申請数と認定数は。(イ)HPVワクチンとインフルエンザワクチンの場合は。

部長　(ア)新型コロナワクチンについて、申請は8件でうち認定が5件。(イ)HPVワクチンについて、申請は1件で結果は認定。インフルエンザワクチンでの申請は無し。

❷市の副反応疑い報告について。(ア)新型コロナワクチンでの副反応疑い報告数と、うち重篤数。(イ)HPVワクチン及びインフルエンザワクチンの場合は。

部長　(ア)新型コロナワクチンについて報告件数は60件で重篤数は11件。(イ)HPVワクチンについて報告件数は2件で重篤数は1件。インフルエンザワクチンの報告は無し。

■その他、市でも桁違いの被害報告があり即時中止を求めました。

❷ ワクチン副反応疑い報告数

	報告数（うち重篤）	接種回数	100万人あたり報告数
新型コロナ	60(11)	41万9000	143(26)
子宮頸がん	2(1)	9000	222(111)
インフル			6(1)

※小金井市の回答を基に作成
※インフルエンザに関し小金井市に報告は無いので100万人あたり報告数は国の統計による

公園活用で健康づくりを／防火インフラの強化を

中井れい子（公明党）

❶健康長寿延伸を目指し、まずは地域各所の公園の環境整備と、運動できる空間整備創出を目指したい。(ア)市内公園の管理状況と、運動スペースとしての利用状況について。(イ)健康器具の活用や公園利用団体との協力体制を強化しないか。

部長　(ア)市内220の公園については、令和6年度から指定管理者制度を導入し管理を行っているが、利用状況は把握していない。(イ)持ち込み放置されたゴミの注意喚起や、適宜各団体の意向を聞き対応を考えている。

❷災害時に備え市民一人ひとりの意識を高めていく。(ア)消火栓の老朽化と表示不備への対応が必要では。(イ)防災会設置割合の状況と設置率向上に向けた取組は。

部長　(ア)水道局、消防署と連携して、原則町単位で修理等を行っている。消火栓表示についても、必要に応じて修繕・整備等を行っていく。(イ)地域防災の要の一つである。自主防災組織がまだ結成されていない地域もあるため、引き続き新規結成に向けて町会を始めとする地域住民にご協力いただき、周知啓発に努める。

■その他、重度障害児政策の拡充について、現場の困難に寄り添った実効性のある政策へ繋がるよう要望しました。

会議録が早くご覧になれるよう、未定稿（校正中）を公開しています。
http://www.city.koganei.tokyo.dbsr.jp/

困りごとを抱えた子どもの支援を拡充しないか

鈴木成夫（みらい）

❶新しい教育目標に「多様性を包摂」の言葉が入った背景と今後の取組は。

教育長　本市の教育目標は20年以上改定していなかったが、現代社会の急激な変化に対応するため、１年以上改定を検討してきた。最大の改善点は「多様性を包摂し」との言葉を用いたところ。人種、性別、年齢、国籍、文化、宗教、性的指向、障がいの有無、文化的背景などの違いを認め、尊重し、それらを前提として共に生きる社会を築くことを意味する。自分らしさをいかせる子どもを育てるために多様性を包摂することは大切で、これは「障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例」を体現するものと考えている。

❷小学校自閉症情緒固定学級設置と、学芸大学のご協力を得た不登校特例校設置を検討しないか。

部長　自閉症情緒固定学級設置には、教室の確保、通学方法、指導体制整備などの検討が必要で、引き続き設置に向けた準備を進めたい。不登校特例校（学びの多様化学校）設置には、設置場所の確保が必要で、解決すべき課題が大きい。

■その他、福祉避難所設置運営マニュアル策定の周知について質問しました。

DX推進、DXツールの利用と組織環境の改善

ながとり太郎（こがおも）

❶DXの推進を図るためには、①市民がオンライン申請の利便性を実感できる環境を整備し、利用状況の把握・分析・改善を行う。②DXツールの利用促進を図り、業務改善の実効性を職員が実感できる体制を構築する。③積極的なコミュニケーションを醸成し、組織内で自律的な改善活動が継続的に行われる職場風土を形成する。の３点を重点的に取り組む必要がある。ホームページのオンライン申請手続一覧を目的別や分野別に分類し、概要についてわかりやすく説明する、紹介ページにすることはできないか。

部長　オンライン申請可能な手続を目的別、分野別に整理し、申請の概要や利用方法をわかりやすく紹介できるページの作成を検討しており、オンラインで完結できる環境づくりを目指していく。

❷積極的なコミュニケーションや職場風土の形成において「さん付け運動」が有効と考えるが、市長の見解は。

市長　私は良いと思う。今日いただいたご意見を含め、検討したい。

■その他、議事録・会議録作成のＡＩによる業務効率の改善について質問しました。

小金井の賑わい（商店街振興・ベンチ設置）

清水学（自民街仲）

「商店街と共に私が目指す小金井づくり」をスローガンに掲げ市議選で当選させていただいた。商店街はコミュニティの核であり、小金井のインフラでもある。

商店街が、商業に加え、災害時等に自分たちの街を自分たちで守る存在、地域の皆さんの安全安心の場となる環境づくりについて。また、ベンチがあるからお店で飲食物を買ってみよう、誰もが歩きたくなるような小金井の街づくりについて市と一緒に考えていきたい。(ア)商店会連合会（商店街）が災害時に担う役割は非常に大きいと考える。商店会連合会と市との災害時における災害協定の締結は必須と考えるが見解を伺う。(イ)市民の皆さんからベンチを設置してほしい、ベンチがあるから外出できるという声をとても多くいただく。ベンチ設置を希望している商店街に、市として積極的に提案、協議へ参加してほしいと考えるが、市の見解を伺う。

部長　(ア)地域における商店街の役割は大きいと認識している。必要性・重要性を鑑み、問題解決に向けて取り組んでいく。(イ)現場の状況に適したベンチについて積極的にお手伝いをして参りたい。

部活動、今後の在り方の方向性を早急に示すべき

沖浦あつし（みらい）

(ア)部活動を理由とする中学校指定校変更の今年度実績は。(イ)緑中バスケ部の地域連携の実証実験を評価する一方で、他校在籍の生徒も参加できる実証実験の実施予定は。(ウ)新たな国の方針でも、できる限り前倒しの実現や、地域展開が困難な場合は、部活動の機会確保へ、拠点校方式や合同部活動の考え方が示されている。複数校にまたがる部活動の方向性を示すべきではないか。(エ)中学校生活は３年しかないからこそ早急に手を打つべき。複数校の生徒が参加できる部活動の実証実験をし、課題の洗い出しが必要ではないか。

部長　(ア)４名の生徒が本制度を利用。(イ)当該実証実験は、調整が難航し実施に至っていない。なお、国は改革期間を後ろ倒しした。(ウ)部活動の運営方法は学校、保護者、地域が協力し、手順を積み上げる必要がある。

教育長　(エ)部活動を負担に感じ「地域移行」を進める意見と、教育的意義の確保からの抵抗感が対立し、現状、大きく進んでいない。「地域展開」という新たな視点で、生徒にとって有意義な部活動になるよう、今後施策を進めていきたい。

■その他、小学校の学区域、市営グラウンドの整備レベル向上を質問しました。

高齢者支援を充実させていきいき暮らせるまちへ

吉良のりこ（みらい）

地域で暮らし続けられるための、高齢者支援策を問う。(ア)認知症予防や健康維持を目的とした既存の高齢者向け教室を見直し、ニーズに合った内容作り、民間企業と連携したイベントなど参加意欲を引き出す工夫を求める。(イ)市が主催する介護職員初任者研修の受講者を増やす必要がある。夜間クラスやオンライン講座の開設は可能か。(ウ)ＩＣＴを活用した高齢者の見守り体制の整備、市民による生活支援や見守りボランティア活動を安定的に確保・維持するために、謝礼金や時間貯金制度の導入検討をしないか。

部長　(ア)メガロス武蔵小金井と連携し、シニア向け運動教室を展開中。参加者から好評を得ており令和６年度から事業を拡大し、今後も介護予防を推進予定。(イ)提案を研究課題とする。(ウ)ＩＣＴを活用した見守り支援としてハローライト電球の導入を準備中。65歳以上の方の介護支援ボランティアで、さくらポイントが得られる事業を実施しており、引き続き研究していく。

■その他、横断者が多いにもかかわらず、近隣に横断歩道がないオーケー梶野町店前の事例を出し、道路の安全に対する市の対応について質問しました。

受動喫煙防止対策と子どもの居場所対策を問う

岸田正義（みらい）

❶受動喫煙防止対策を何度も訴えてきた。(ア)ガイドライン案は喫煙のネガティブな表現が強く修正を求めたが検討は。(イ)駅周辺の公衆喫煙所設置の検討状況は。(ウ)武蔵小金井駅北口の民間喫煙所にトレーラーハウス型喫煙所を設置すべき。

部長　(ア)審議会で協議し修正した。(イ)公衆喫煙所整備に向けて検討を進めている。(ウ)具体的協議はしておらず現時点で答弁できない。

❷最上位計画である第５次基本構想に位置付けている子どもの居場所を創るためには今後策定する第５次生涯学習推進計画が極めて重要。(ア)第４次との違いは。(イ)何度も訴えてきた放課後ガイドブックの検討は。(ウ)緑中学校の放課後カフェを参考に中学校での放課後子ども教室を実施すべき。(エ)ユースセンターを真剣に検討すべき。(オ)田澤や下村が担った青年活動発祥の地である浴恩館と緑センターを一体的に生涯学習の拠点に位置付け施策を推進すべき。

部長　(ア)生涯学習の成果をより適切にいかす社会の具体化を図る。(イ)今年度中の公表を目指す。(ウ)ご意見も踏まえ研究する。(エ)庁内整理から進めることが必要。

教育長　(オ)誇るべき歴史であり、今一度現代にいかす仕組みづくりに尽力する。

「子どもたち」みんなで見守り地域の中で

遠藤百合子（自由民主党）

❶子どもの安全・安心の確保は家族にとって最大の関心事で、社会全体で取り組むことが必要とされている。地域の見守りについては、一般質問の回を重ねるごとに見守りネットワークの充実が図られており、関係各所に感謝を申し上げる。(ア)カンガルーのポケットについて。(イ)登下校時の見守り、カードタッチ下校確認制度について。(ウ)防災行政無線の活用を。(エ)安全・安心まちづくり条例の具体的動向は。(オ)安全・安心メール配信システムの現状と利用拡大について。(カ)わんわんパトロールの理解と協力を。

部長　(ア)より良い運用に向け協議を重ねていく。(イ)関係機関との連携の上、対処している。カードタッチ登下校確認制度はＰＴＡ主体で全校において実施している。(ウ)防災無線の活用や趣旨について市報・ホームページで周知する。(エ)円滑で効果的な防犯体制作りに取り組む。(オ)多くの方に利用して頂けるよう努力する。(カ)小金井警察署と協力し、地域ボランティアによる防犯パトロール団体の情報共有含め、連携していく。

❷四小の雨漏りに対し、速やかな対応を求める。

部長　適切な対処が必要であると認識しており、緊急修繕等で対応していく。

障がいの有無によらず通える学童保育所を

坂井えつ子（緑・つながる）

障がいのある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例を踏まえ質問する。学童保育所入所申請の手引きについて。(ア)心身に障がいのある児童に対して「健常児との集団保育に支障なく適応でき」という要件がある。これはすべての児童に対する要件であり、障がいのある児童のみに特定した要件とするのは適切ではないと考えるが見解は。また、「支障なく適応」の判断とは。(イ)「通所に際し、保護者等による送迎が可能であること」とあるが、保護者の対応が困難だという声を聞く。実際の対応は。(ウ)基本的な対応方針は。(エ)実際の対応がわかるように表現を変更しないか。

部長　(ア)指摘のとおり。表記の検討を進めている。学童での集団保育の状況を勘案し、合理的配慮をもって児童の安全を確保した集団保育が可能か判断する。(イ)基本的に保護者にお願いしている。集団保育の対応に支障がなく、学童から目視できる範囲での来園支援を行う場合もある。(ウ)ご不安のある保護者の相談に対応してきた。児童の安全が確保できれば可能な限り受け入れる。(エ)丁寧な表現に努めていきたい。

議案、意見書・決議を掲載しています。
https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/gikaijimukyoku/teireirinji/reiwa7_gikai/reiwa7_gian/index.html

公契約条例を制定し賃金保障を

水上洋志（日本共産党）

市の委託事業における物価高騰や、最低賃金引上げ等の委託料への反映について質問する。(ア)業務委託について、一般的に単年度契約で1年間の見積りを取り、予算要求を行っているため、委託料に賃上げ等の反映は行われているとされている。しかし、学童保育所の業務委託では単年度ごとに見積りを取り予算要求を行うことはしていない。公民館など他の委託事業でも同様の部署がある。主管課任せにせず総務部が実態を調べ、委託料への適切な反映を行うよう促すべきではないか。(イ)公契約条例を制定し、労働環境の整備、最低賃金を上回る賃金を保障することは、人手不足の解消など地域経済の活性化につながる。制定を求める。(ウ)公契約条例が最低賃金法への抵触、また労使間の労働条件の介入に当たるのか見解を求める。

部長　(ア)各主管課で協議を行っていると考えている。(イ)周辺市の状況含め研究、課題整理が必要。(ウ)最低賃金法への抵触や労働条件の介入には当たらない。

■その他、本町高齢者在宅支援センターの配食サービスを新たな民間事業者に移行することについて、「見守り」の維持・強化を求めました。

物価高騰対策の充実を求める

たゆ久貴（日本共産党）

日本共産党小金井市議団は、昨年の夏から秋にかけて市民アンケートに取り組んだ。それには千通を超える返信が寄せられた。長引く物価高騰により暮らしがますます大変になっているという声が多く寄せられ、その声を基に、物価高騰から市民の暮らしを守る4つの緊急提案を行った。多くの方から共感と期待が寄せられた。

実質賃金はマイナスが続き、コメなど食料品の価格が高騰する中、賃上げが物価上昇に追い付いていない。依然として暮らしや営業の厳しさが増している状況にある。小金井市は継続した支援策を行う必要がある。(ア)全世帯へのお米券の配付を。(イ)電気・ガス・ガソリン代への補助を高齢者、ひとり親、障がい者世帯、自営業者に対して行うべき。(ウ)低所得者への家賃の補助を。(エ)国民健康保険税の年1万円の減税を。

部長　(ア)社会情勢や国や都、近隣自治体等の取組などを注視して参りたい。(イ)国や都、近隣自治体の状況も踏まえつつ、研究課題として捉えて参りたい。(ウ)住宅確保給付金を中心とした国の制度の周知と適切な運用に取り組む。(エ)財政状況を鑑みると難しい。

「のののみち」完全開通が市の責任で遅れている

渡辺大三（子ども／情報）

JR中央線高架下歩道状空地（のののみち）は、東小金井駅nononowa北口から緑中央通りまで結ぶ予定で整備が進んできた。未整備であった庁舎建設予定地北東側も、JR東日本初の高架下クラフトビール醸造所の建築に合わせて歩道状空地が整備され、1スパンだけが残されることになった。この1スパンは庁舎整備に当たって、市がJRから借り受け通路にすると説明されている。既に市議会は特別多数議決（全会一致）で庁舎建設予定地を庁舎の位置に定める議決を済ませている。市はなぜ借り受けを急がないのか。早急に借り受け、歩道状空地を整備し、市民に不便をかけないようにすべきだ。

部長　市が借りるこの1スパンだけが未整備で分断状態となっている。のののみち利用者には不便をかけ、見方によっては危険とも言える。JRと先行整備する方向で調整を進めたい。

市の責任で開通しない「のののみち」

子どもへの性暴力／武蔵野公園の送電線の移設

安田けいこ（生活者ネット）

❶子ども性暴力防止法が来年度施行される。(ア)何が変わるのか。(イ)市内での性被害は。(ウ)防止策は。(エ)SNSや盗撮被害の対策は。(オ)男子の被害について認識は。(カ)いじめ防止アンケートに性被害の質問を入れないか。(キ)学校医による包括的性教育を行ってはどうか。

部長　(ア)教員等の性犯罪歴の確認が必須となりセーフティーネットが強化される。(イ)報告は受けていない。(ウ)全校で命の安全教育を実施。全教職員に研修を行い指導を徹底。(エ)教員のスマホ利用制限や児童生徒への情報モラル教育を実施。(オ)男は被害に遭わない等の偏見があり、相談につながりにくい。(カ)早期発見のために有効。(キ)今後研究したい。

❷小金井3・4・11号線は橋梁の場合、送電線との間隔の問題で鉄塔移設が必要と指摘される。自然環境への影響が甚大だが見解は。

市長　都に内容を伺いたい。

都市計画道路小金井3・4・11号線予定地上空の送電線

3・4・11号線／市営グラウンド／児童の見守り

河野麻美（自由民主党）

❶(ア)2路線の必要性と合理性を判断するために行った市の独自検証はそのフローも踏まえ客観性、透明性、公平性は確保されているか、検証結果は有効なものなのか見解は。(イ)3・4・11号線の必要性は全27区間中何位か。(ウ)評価項目の防災機能、都市緑化の分析結果は。(エ)東八道路以南府中市施行区間の用地取得率は98％を超え工事説明会も開催した。過去の経緯を踏まえ、整備を認める判断を求める。

市長　(ア)客観性、透明性、公平性は確保され、結果も有効なものとの認識。(エ)再整理について検討中。

部長　(イ)1位と評価。整備の必要性が高い。(ウ)路線整備により消防隊の侵入経路が確保され現場到達時間が17分から7分に短縮する。はけは現状宅地化されており、橋梁下は緑化が可能。

❷市営グラウンドは樹木の剪定を市民が行い、砂利石が広範囲で露出し、プレーに支障がある状態のため、整備状況の改善を求める。

部長　委託の仕様書見直し等、より良いグラウンド維持の方策を検討する。

❸児童が安心安全の環境下で登下校出来るようICT技術を活用した見守りシステムの導入やGPS購入補助等を検討しないか。

部長　研究課題である。

働き方改革に留守番電話を／公開文書の形式改善

水谷たかこ（こがおも）

❶本市の教員の働き方改革キャンペーンの推移を見ると、副校長補佐等の人的支援やICT活用等が奏効したと言えるが、更に一歩進んだ対応が必要ではないか。(ア)部活動は勤務時間に含まれているのか。(イ)隣接自治体の学校では導入済みの留守番電話を、本市でも検討しないか。

部長　(ア)平日8時15分以前と16時45分以降、土日祝日は全て勤務時間外となる。(イ)放課後の電話対応を無くすことは教員の多忙を解消し、教育の質を向上する上で、非常に大きなメリットがある。保護者に目的とメリットを説明し、理解を得る必要がある。連絡アプリやHPでの情報公開等、電話以外の連絡手段の環境は整っている。

❷市が公表している文書は、テキスト検索できないものが多い。市民が活用しやすい形式で公開しないか。

副市長　情報を受け取る市民等が二次利用しやすい形式であることが重要である。まずは構造化された文書等の機械判読性の向上と実務的な改善を着実に進め、非構造化データも対応可能な部分については可能な限り速やかに対応したい。

■その他、訪問型産後ケアの利点、妊娠中からの支援情報について質問しました。

市民参加、子どもの権利、男女平等は基本条例

片山かおる（子ども／情報）

男女平等、市民参加、子どもの権利に関する条例は市民参加で何年もかけて作った市の基本条例。市民が権利を獲得するには血を吐く努力が必要だが、権力者が市民の権利を剥奪するのは一瞬。私はそんな権力を振りかざす議員にはならないようにしたい。(ア)女性支援法に関する26市調査と国立市の女性相談支援員配置について。(イ)専任の正規配置が重要。(ウ)国に女性人口に対する配置基準と予算を求めよ。(エ)支援調整会議に警察関係者を入れるのはなぜか。(オ)支援法の認識と、全庁的な研修を。(カ)男女共同参画への姿勢と審議会の位置付けについて。

部長　(ア)国立市は先進的な取組をしており各市に学びたい。(イ)どのような体制が良いか考える必要がある。(ウ)部長会の動きを注視。(エ)特定の考えはない。(オ)3つの基本理念がある。7月5日にシンポジウム。(カ)市民参加の審議会とともに男女平等社会の実現に尽力する。

市長　(カ)男女平等基本条例は重要な条例。女性支援法の基本理念の人権尊重と男女平等は市として最重要。

■その他、市民参加条例、子どもの権利条例の研修、全庁的な理解、市民への啓発、意見提案シートの活用等について質問しました。

修学旅行費の無償化、下水道料金引下げを求める

森戸よう子（日本共産党）

❶物価高騰の中、経済的支援が求められている。(ア)修学旅行の費用は、6万から6万8千円がかかっている。補助金は長年3千円のままである。特別区では無償化の動きがあり、小金井市としても無償化しないか。(イ)東京都が水道料金の基本料金を無料にすることを明らかにしているが、小金井市として下水道料金基本料金を4ヶ月無料にしないか。

部長　(ア)長い間補助金は3千円であるが、無償化は難しい。(イ)基本料金の無償化は難しい。

❷ココバスの東町・中町循環について、(ア)誰もが自由に移動できる地域公共交通を進めるべきだと考えるが、市の見解は。(イ)ルートが変更になったことで様々な声が寄せられている。存続と合わせ、東小金井駅南口にルートの改善を求める。(ウ)運転手不足を解消するために、2種免許取得に対し小金井市として補助をしないか。

部長　(ア)利用者の視点に立った検討が重要である。(イ)より多くの市民が利用できるように努める。(ウ)市長会を通じて、国や東京都に処遇改善を要望している。

■その他、都市計画道路の検証報告書の検証は問題があると市の姿勢をただしました。

定例会・臨時会における審議結果を掲載しています。
https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/gikaijimukyoku/teireirinji/reiwa7_gikai/reiwa7_shing/index.html

意見書・決議の審議結果

※　可決された意見書は、国等への関係機関に送付しました。

○：賛成　×：反対　△：退席　議：議長（原則、採決には加わらず）

件名	要旨（提案議員が作成）	み 天野かな	み 沖浦あつし	み 吉良のりこ	み 岸田正義	み 鈴木成夫	自 河野麻美	自 吹春やすたか	自 遠藤百合子	共 たゆ久貴	共 水上洋志	共 森戸よう子	公 太田宏徳	公 中井れい子	公 小林正樹	子 渡辺大三	子 片山かおる	お 水谷たかこ	お ながとり太郎	参 斎藤康夫	ネ 安田けいこ	街 清水学	れ 村上ようすけ	見 藤川賢治	緑 坂井えつ子	議決結果
学術会議法案の撤回を求める意見書	法人化によって学術会議の独立性が損なわれ、政府の意向に沿う組織に変質することは明らかであり、学術への政治介入を制度化する法案の成立は許されない。よって政府に学術会議法案の撤回を求める。	△	△	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	議	○	×	○	△	○	原案可決
医療崩壊の危機的な状況を一刻も早く解決し、国民の命を守る医療体制の拡充を求める意見書	地域医療の崩壊が叫ばれ、多くの病院から悲鳴が上がっている。患者負担にならないよう緊急に国費を投入し、診療報酬の基本部分を引き上げ、医療従事者の賃上げを図るよう充分な支援を行うことを強く求める。	×	△	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	議	○	×	○	×	○	原案可決
選択的夫婦別姓の実現を求める意見書	姓名は個人がそれまで生きてきた人生の象徴、アイデンティティーであり、変更を強制されないことは人格権の大事な一部である。28年ぶりに国会で法案が審議されている今こそ、選択的夫婦別姓を実現するときである。	△	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	△	○	原案可決
米政策における安定供給と持続可能な農業政策の構築を求める意見書	総合的な米政策の在り方についての検討において、より安定的で持続可能な米の生産から流通までの仕組みを再構築すること及び高齢化する農家の減少に歯止めをかけ、持続可能な農業政策を構築することを求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	議	○	○	○	○	○	原案可決
米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書	日本企業の９割以上を占める中小企業等を対象とした、具体的かつ手厚い施策を講じることを強く要望する。事業者への影響を踏まえ、セーフティネット保証制度の適用等、資金繰りに万全を期すことを求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	△	○	○	原案可決
地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書	安定的な業務継続のために雇用形態や処遇の改善が求められており、国の主導により速やかな制度設計と予算措置を行うことが必要である。国が進める消費生活相談デジタル化に係る予算を国の責任で措置することを求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	△	○	○	原案可決
防犯機器等購入緊急補助事業に関する決議	防犯機器等購入緊急補助事業では、市独自の上乗せ（上限額増額）や横出し（対象拡大）は見送られた。市民の安心、安全を守る観点から残念である。他市の事例を勘案し、一定の措置や執行率向上の工夫を講じるよう求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○	○	○	○	○	原案可決
東京電力新潟柏崎刈羽原発の避難計画問題に関する意見書	柏崎刈羽原発のエネルギーの供給先は、本市を含む関東圏である。エネルギーの供給元での住民の安全確保に関心を持ち、柏崎刈羽原発の再稼働に反対し、住民の安全を守らない緊急時対応計画を了承しないよう求める。	×	×	△	△	△	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	△	△	×	○	×	○	○	○	否決（議長裁決）
「放射能汚染土」の再利用の中止・撤回を求める意見書	人体に悪影響を与える放射性物質は集中管理が原則。埋めてある汚染土を掘り返し積載、運搬、工事現場へ投入する全ての段階でちりやほこりと共に放射性物質が拡散する。放射能汚染土の再利用の中止・撤回を強く求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	△	△	議	○	×	○	○	○	否決
ｍＲＮＡ型を含む遺伝子製剤をワクチンとして承認するにあたり、十分な年月をかけた検証を求める意見書	ｍＲＮＡ型ワクチンは遺伝子製剤であり、医薬品規制調和国際会議（ＩＣＨ）のガイドラインには自己複製性や体外への排出（シェディング）の検証が不可欠であると記されている。十分な年月をかけ検証することを求める。	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	議	○	×	△	○	○	否決
物価高騰の中、商業者・市民への更なる支援策を求める決議	今回の物価高騰に対する支援策では、７割の事業者と多数の市民が利用できないことが明らかである。市内関係者から意見を聴き、支援策で恩恵を受けられない事業者や市民を視野に入れた、更なる支援策の拡充を求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	議	○	○	○	○	○	否決

※可否同数の場合、議長が可否を決定します。

【会派略称】み：みらいのこがねい　自：自由民主党小金井　共：日本共産党小金井市議団　公：小金井市議会公明党　子：子どもの権利／情報公開　お：小金井をおもしろくする会
参：参政党小金井　ネ：生活者ネットワーク　街：自民党・街の仲間たち　れ：れいわ新選組小金井　見：小金井市政を見える化する会　緑：緑・つながる小金井

選択的夫婦別姓の実現を求める意見書

反対討論（要旨）

遠藤百合子（自由民主党）

総務省は、旧姓通称使用の弊害として挙げられた、数多くの事例に取り組み、既に解決済みの案件も多い。金融機関の銀行口座は70％、信用金庫は60％でビジネスネームによる口座開設に対応しており、不動産登記は令和６年４月の法改正で、旧姓併記が可能になっている。

マイナンバーカードや住民票・印鑑登録証明証等への旧姓併記、また、医師や弁護士等の国家資格に旧姓使用が可能で、各種資格の申請も、旧姓の単記か併記で対応可能になるよう作業を進めている。

全省庁・地方公共団体・民間企業の実施により、旧姓の通称使用の法制化をもって、婚姻による戸籍姓変更等で社会生活に不便を生ずる事のないよう手続きを進めていることから、反対する。

市議会の情報をＸで発信しています

市議会公式Ｘ（旧Twitter）から、本会議、各委員会等の開催の情報、ホームページ掲載の新着情報など、市議会の活動に関する情報を発信しています。

閉会中の委員会日程及び審査案件

総務企画委員会

７月23日（水）午前10時

▶ふるさと納税返礼品から「特定外来生物被害防止基本方針」に収録のある生物種の排除を求める陳情書　▶ふるさと納税返礼品指定体制の改善を求める陳情書　▶小金井市第一庁舎にエレベーター設置を求める陳情書　▶小金井市議会は国会に対し地方税法343条が定める固定資産税の廃止を求める意見書を提出するよう求める陳情書　▶陳情者は小金井市議会に対し「小金井市長宛ての市民の声」制度の廃止の働きかけを求める陳情書　▶選挙時の法定ビラの配布方法の規制緩和について国に意見書を提出していただくことを求める陳情書

議会運営委員会

８月１日（金）午前10時
８月27日（水）午後２時

▶市議会への請願書及び陳情書に関して、オンライン提出を可能にすることを求める陳情書　▶請願・陳情の提出締め切り日時について市議会ホームページに掲載していただくことを求める陳情書　▶議会改革に関する諸問題の調査　▶①次期定例会（臨時会を含む。）の会期及び会議日割等、議会運営に関する調査　②議会の会議規則、委員会条例等に関する調査　③議会運営に関する議長の諮問事項について

建設環境委員会

８月５日（火）午前10時

▶小金井市下水道条例の一部を改正する条例　▶電磁波悪用、電磁波の人体と健康への悪影響を訴え、電磁波に対する法整備・法改正を国に求める陳情書　▶武蔵小金井駅西側の歩道等の改善を求める陳情書　▶３・４・11号線など都市計画道路問題に関して参考人制度や公聴会制度の活用を求める陳情書　▶東小金井駅ｎｏｎｏｗａ北口の交通安全対策を求める陳情書　▶所管事務調査（循環型社会の形成及び温室効果ガス削減に関する調査）　▶所管事務調査（都市計画道路に関する調査）

厚生文教委員会

８月19日（火）午前10時

▶教育長は男女差別事案を真摯に受け止め、適切な事後処理を行うことを求める陳情書　▶市民体育祭ゴルフ競技の改善を求める陳情書　▶市民体育祭ゴルフ競技参加者に関する陳情書　▶2024年２月の裁判結果を尊重し公立５園を存続させ、園児募集再開を求める陳情書　▶『乳児等通園支援事業（いわゆる「こども誰でも通園制度」）』に関わる陳情書　▶障がい者への「（仮称）交通手当」の検討状況等について議会として確認していただくことを求める陳情書　▶所管事務調査（地域福祉計画の進捗について）　▶所管事務調査（子ども施策について）

庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会

８月25日（月）午前10時

▶庁舎等建設及び公共施設マネジメントの推進に係る諸問題の調査

小金井市はGPN会員として
印刷のグリーン購入に取り組んでいます。

この議会報は再生紙を使用しています。※ごみ減量と資源の再利用にご協力ください。
この印刷物は、植物性インキ（石油系剤を利用するかわりに植物油を溶剤としたインキ）を使用しています。

市議会“会派”を紹介します

みらいのこがねい

今年３月の選挙を経て新たに５名の議員で会派を結成しました。それぞれ党派も経験も異なりますが、市議会の最大会派として責任ある判断と方向性を示し、市民サービスの向上と福祉の増進、地域課題解消のために一致団結して取組んでまいります。ぜひ今後の活動にご注目ください。

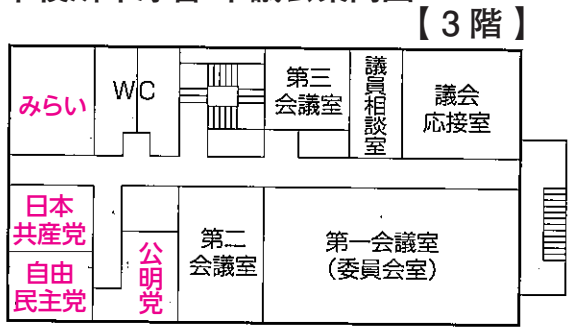
会派ってなあに？

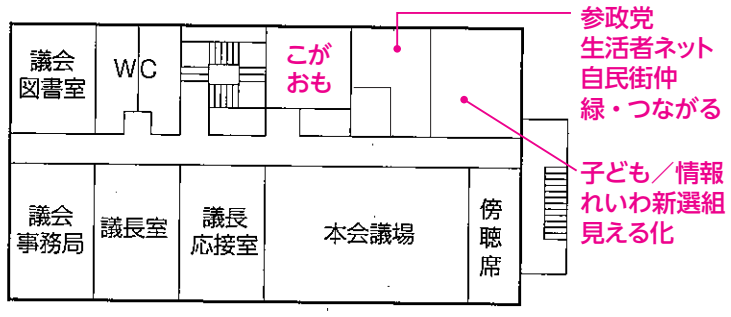
会派とは、議会において、議員が自分たちの考えを市政に反映するための政策や主義主張を同じくする議員の集まりで、議会内交渉団体のことをいいます。政党単位ではなく、無所属や異なる政党議員による会派もあります。また、小金井市議会では１人で結成する場合でも会派として認められています。

会派名
議員名（当選回数）

市役所本庁舎 市議会案内図

【３階】





【４階】

自由民主党小金井

市民の皆さまの声に耳を傾け、山積した小金井の課題を前に進め、子どもから高齢者まで誰もが暮らしやすい街「小金井」の実現に向け全力で取り組んでまいります。今後の活動にご注目ください！

日本共産党小金井市議団

物価高騰から市民生活を守り、福祉・子育て・教育の充実、自然環境を守ることを大切にして活動しています。また困っている皆さんに寄り添い解決をめざし活動しています。お気軽にご連絡ください。

小金井市議会公明党

もっと暮らしやすく、もっと小金井らしく。私達は、現場の声に耳を傾け、お一人お一人に寄り添い、子育て・福祉・防災・まちづくり等の課題に全力で取り組んでいます。お気軽にお声かけください！

子どもの権利／情報公開

市長との緊張感のある関係で議会の権能を行使し市民に開かれた議会とする情報公開、公立保育園廃園問題の解決と子どもの権利条例の実効性を高めます。

小金井をおもしろくする会

２人になってパワーアップ！ 子育て・教育、街のにぎわい＆つながり、便利で働きやすい市役所等、まじめに、おもしろく、みなさんと考えていきます。

参政党小金井

重点政策として、小金井市の「財政の健全化」「教育の原点を求める」「安全安心のまちづくり」を推進します。

生活者ネットワーク

生活者ネットワークは、議員を交代しながら40年以上政策を引き継ぎ、生活者の目線で政策提案しています。

自民党・街の仲間たち

自民党・街の仲間たちは「商店街と共に私がめざす小金井づくり」を実現するために議会と地域で活動します！

れいわ新選組小金井

「あなたを守る」を使命とする新会派です。「誰もいないことにしない！」市政のため政策提案していきます。

小金井市政を見える化する会

医療や財政などの統計データを表やグラフで常に「見える化」し、市民の健康と生活を守る提案をしていきます。

緑・つながる小金井

気候危機への対策は急務です。また、政治の役割は、ひとり一人の困りごとを減らすための制度づくりです。

原稿は議員が作成しています

次の定例会は令和7年9月1日（月）開会予定です。